

三年次編入生の教育課程 ～単位認定を中心に～

知識情報・図書館学類
3年次編入説明会
2022年4月16日（土）

1

三編生の卒業要件

- 三編生用の特別な卒業要件はない
= 1年次に入学した人と同じ卒業要件
- 4年分の単位を2年で取らなければいけない
→ **単位認定**の必要（おおむね2年次までの単位を「取ったことにする」手続き）

2

履修計画

1年次入学者



3年次編入生



3

司書資格（28単位）

1年次入学者



3年次編入生



4

編入学後の学修のために

- 知識情報・図書館学類の卒業要件を意識した履修を編入学前からすすめておこう
- **認定60単位** + 3年次44単位 + 4年次20単位がめやす
- 必修科目が明暗をわける
- 特に語学・体育がポイント（通年科目なので時間割上の制約が厳しい）

5

外国語（英語）（6単位）

- 共通科目4単位 + 専門基礎科目2単位（最低でも4単位欲しい）
- **高専1～3年は単位認定対象外**
- TOEIC/TOEFL/IELTSや英検による認定単位も認定対象外（元のスコア等が筑波大の基準に合致するなら認定可、**入学後**にスコアを提出することで単位を取得できます）

6

体育（2単位）

- 実技を伴わない、保健・健康科学系の科目でも認定可

7

参考：放送大学

- 科目履修生（1科目単位で履修）
- 1科目11,000円（2科目4単位で22,000円）
+ 入学金7,000円（科目履修・半年間）



8

専門基礎科目（必修12単位）

- アカデミックスキルズ 1単位
- プログラミング入門A, B 3単位
- 情報数学A 2単位
- 統計 2単位
- 哲学 2単位
- 専門英語A 2単位（1単位×2科目）

9

プログラミング入門（高専）

- 高専1～3年生にプログラミングの単位を修得していることが多い
- しかし、高専1～3年生の単位は認定しない
- ではどうするかというと、**高専4～5年のプログラミングの要素が入っている科目**をプログラミングの単位として認定する
 - 通常ならプログラミングの単位として認定しない科目を高専1～3年にプログラミングの単位をとっていることを条件に認定する。

10

専門基礎科目・選択科目

- 高専や他大学で学んだ**専門領域に関する科目群**を本学類の専門基礎科目・選択科目に相当する内容と認めて**認定**する
- 現在自分が学んでいることについて、**体系的な科目群**を入学前に修得しておくこと

11

単位認定について：まとめ

- 概ね**60単位**認定できる
 - 専門基礎科目の**認定**
 - 体系的な科目群であれば、内容は問わない
 - プログラミングや数学・・・単位認定できなくても、1年次で履修する科目なので心配しなくてよい
- ただし、**語学・体育**に注意！
 - 必要に応じて放送大学等で単位を取得しておく

12

テクニカルコミュニケーター専門課程

- 対象科目の18単位以上を履修し、テクニカルコミュニケーター協会に申請することで、「テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定証」を得ることができます
 - 上記の18単位は全て本学での修得が必要（認定分は含まない）



13

編入後の履修

- 必修科目
 - 認定対象ではない必修科目
 - (共通科目) 学問への誘い
 - (専門基礎科目) 知識情報概論、知識情報演習I/II/III
 - (3年次専門科目) 主専攻実習A/B、専門英語B/C
 - (4年次専門科目) 卒業研究A/B
 - 認定対象であるが認定できなかった必修科目
 - 専門基礎科目: アカデミックスキルズ、プログラミング入門A/B、情報数学A、統計、哲学、専門英語A1/A2
 - 共通科目: 情報4単位、体育2単位、外国語(英語)4単位、総合科目1単位
- 3つの主専攻の専門科目(認定対象外)
 - 自主専攻から16単位(以上)
 - 他主専攻から8単位(以上)

14

知識情報・図書館学類HP

- 概要、学ぶ、教員紹介 etc.
 - 学類の教育内容、各主専攻の紹介



<http://klis.tsukuba.ac.jp>

15

より具体的な講義内容→ シラバス

- 学類公式サイト → シラバス



シラバス

16

特色のある講義・学生活動等→

KLIS TODAY (学類広報誌)

- 学類公式サイト → 概要 → 学類による刊行物 → KLIS TODAY
 - 学生による体験談なども掲載されています



17

組み込み技術キャンパスOJT

- 学類公式サイト → 学ぶ → 組み込み技術キャンパスOJT
 - 先端ITベンチャー企業との連携によるET(組み込み技術)技術者養成教育プログラム
 - 体験型システム開発A・Bとして単位取得可能



18

アジャイル型PBL開発演習

enPiT

- 学類公式サイト → 学ぶ → enPiT (成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成)
 - アジャイルチーム開発の手法を取り入れた、プロジェクト型学習 (Project Based Learning; PBL)
 - ビジネスシステムデザインA・Bとして単位取得可



19

より具体的な研究内容→ 卒業論文の抄録

- 学類公式サイト → 学ぶ → 卒業研究
 - 抄録はどこからでも読めます



20

もっと知りたい方は・・・

- このあとの先輩方の体験談
- 個別相談も利用してください

Thanks!
☺

21